

公募に当たっての基本的な考え方

1. 現場で評価され、活用される技術を支援します。
2. 研究と並行して、社会実装のための活動に意欲的に取り組もうとする提案を求めます。
3. 「物言う委託者」として研究に伴走します。

- 研究者が主体的に関わっていない。
- 研究が終了しており、ユーザーの要望に応えられない。
- 単発の活動で、粘り強く関係を築く努力に欠ける。